



ロータリー：
変化をもたらす

Weekly

尾張旭ロータリークラブ



・会長 西尾輝久・幹事 菊田利昭・クラブ会報 加藤清久
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : jimmu@owariasahi-rc.org URL : http://www.owariasahi-rc.org

2017-18年度 地区方針 「今日からのロータリーを楽しもう！」

本日 第2279回 2018年2月23日(金) No. 2164

本日のプログラム Today's Program

卓話担当者：国際奉仕委員会

点 鐘

卓話者：箕輪 良孝国際奉仕委員長

ロータリーソング 「 奉仕の理想 」

演 題：「 留学生交流について 」

前回 第2278回 2018年2月16日(金) 記 録

- 斉唱：「荒城の月」
- ゲスト：特定非営利活動法人 DRR
ネットワーク つなぐ 理事 菅井 径世様
- 出席者：会員 20名中 15名出席 出席率 75.00%
前々回補正出席率 2月2日 95.00%

など席を立たずにしっかり食べる時間を作る。松本は「30・10（さんまるいちまる運動）」と言うらしいです。3. 料理がたくさん残っているテーブルから少ないテーブルへ料理を分ける。4. 幹事や司会の方は宴会中に「食べ残しの無いように！」の声をかける。5. 食中毒の危険のない料理を折り詰めで注文して食べ残しの無いように」又、小学校では先生が世界には十分食事をとることが出来ない子供もいることを教えたなら食べ残しが減ったそうです。

会長あいさつ 西尾 輝久



今日は福井県が「食べきり運動」に取り組んで10年になるというお話をしようと思います。これは家庭や飲食店から出る食品ゴミをへらそうと考えたもので、宴会の際の食べ残し

を気にして発案したそうです。店のレストランに「適量注文」「苦手申告」「持ち帰り」を呼びかけた所、成果は実を結び、県内の食品ロスには2009年に比べ2013年は22%も少なかったそうです。食品ロスー売れ残りや食べ残し、消費・賞味期限切れ、野菜の皮を厚くむくといった調理中の過剰な除去などが原因で廃棄される食べ物ことで、日本は食糧自給率が4割で多くを輸入に頼る中、ご飯に例えると国民1人当たり毎日茶碗1杯分を捨てている計算になるそうです。福井県が推奨する「宴会五カ条」
 1. 出席者の性別や年齢などを店に伝え、適量注文を心掛ける。2. 酒宴に席では開始30分、終了10分

幹事報告

- ・2/16(金)2018年ロータリー財団補助金管理セミナー 於名古屋東急ホテル 森井会長エレクト・桜井副幹事・山田地区副委員長 出席
- ・2/16(金)地区会員増強委員会 於ガバナー事務所 古橋エツ子地区委員 出席

ニコボックス

- 菅井径世様お久しぶりです。卓話楽しみにしています。西尾 輝久君
- 菅井様、ようこそいらっしゃいました。卓話を楽しんでいます。菊田 利昭君
- 特定非営利法人 DRR ネットワークつなぐ理事菅井径世様、ようこそいらっしゃいました。卓話を楽しみにしています。飯田 幸雄君、江尻 豪君、加藤 清久君、金森 俊輔君、古橋 エツ子君

水と衛生/OFDY委員会 月間

	3月2日(金)	3月9日(金)	3月16日(金)	3月24日(土)
例 会 予 定	卓話担当者:OFDY委員会 卓話者:瀬戸信用金庫 理事 資金証券部長 神戸 雅弘様 演題:「OFDYについて」	卓話担当者:谷口 伸夫君 卓話者:石井 弘子地区 会員増強委員 演題:「会員増強に ついて」	卓話担当者:青少年奉仕 委員会 卓話者:小規模保育所 各園長 演題:「小規模保育所に ついて」	伊那 RC・尾張旭 RC 合同例会 (3/23 振替) 於神楽屋佐助 受付 17:30 点鐘 18:00

- 先日、四季亭、紹興酒美味しく頂きました。会議は踊りました。 加藤 清久君
- 豪雪も一段落、オリンピック熱で溶けるといいですね。 加藤 清久君
- 三寒四温の時節です。皆さん風邪を引かないよう注意しましょう。 岡田 好雅君
- 本日、早退させていただきます。 岡本 和士君、舟橋 龍秀君

尾張旭市地域活動連絡協議会主催の「第41回なわとび大会」が小学校・成年の部に於いて約90名の参加で行われ、小学生の部は約1,390回、成年の部では約5,900回が最高でした。競技終了後、水野市長と尾張旭ロータリークラブの代表として挨拶と、各学年にメダルの授与を行い、児童達の笑顔が素敵でした。 副会長 古橋 裕志



水野尾張旭市長の挨拶



古橋裕志副会長の挨拶

卓話



**特定非営利法人 DRR ネットワークつなぐ
理事 菅井径世様**

日本は昔から地震に悩まされてきました。現在にいたって、地震予知が可能と政府は大金を投入して研究しましたが、結果、東北大地震を予知できずお手上げの状態となりました。先生は予知に重点をおかず実際におきた地震をデータ化し、地盤・地質・ひずみ等を計測し、ある地域においてどれだけの“ゆれ”が生ずるか、あるいは建物にどんな被害がでるかを研究し、尾張旭市をモデルにして各家の被害分布を算出しました。これで、どんなことが予測できるかと言えば、今後起こりえる地震に対して、各家がどれだけの被害ができるか想定でき、各家庭や行政がどう対応したら良いかということが分かります。もっと具体的に言えば、今後予想される紀伊半島沖の大地震について、我家が倒壊するかしらないかも予測できます。したがって、この先生の研究は画期的なものであり、私達ロータリーもその啓蒙に協力しなければと思った次第です。

文：広報委員長 加藤 清久

尾張旭市の HP

<https://www.city.owariasahi.lg.jp/kurasi/bousai/bousai/index.html>

リスクで考える我が家の耐震

<http://eqk-risk.gogh.nuac.nagoya-u.ac.jp/>

第41回尾張旭市なわとび大会

日 時：2018年2月17日（土）

場 所：尾張旭市総合体育館アリーナ

出席者：古橋 裕志副会長



メダル授与する
古橋 裕志副会長

ガバナー月信2月号掲載文



2018 学年度 米山奨学生第1次選考会を終えて

**地区米山記念奨学委員会副委員長
山田直樹（尾張旭 RC）**

2017年11月30日

於：ガバナー事務所会議室

2017年11月30日（木）にガバナー事務所会議室において2018学年度第1次米山奨学生選考会を開催いたしました。今後のスケジュールとしては第2次選考会が2018年1月11日（木）、そして第3次最終面接試験が1月20日（土）となっていきます。最終面接は名古屋国際センターを会場に行います。今回の第1次選考会は受験生を面接する面接官のオリエンテーションを行うことが主な目的でした。最終面接を行うにあたり面接官として注意すること、やってはいけないこと、我々の選考基準としてどういう質問を受験生にしたら良いか等をテキスト、DVDを観ながら学び確認を取り合いました。今回は107名の応募があり、この中から新規で34名（18名の継続奨学生がいます）の奨学生を受け入れますのでかなり狭き門になります。それだけに慎重に面接を行わなければなりません。当日は7グループに分かれての面接になり1グループ3名～4名の面接官で面接を行い、受験生1名あたり15分の持ち時間で、まる1日かけて行います。面接官は28名（事務局含む）で神野重行ガバナー、近藤雄亮米山理事を始めとして地区役員、地区委員、地区委員のOBも参加してくれます。選考の基準はあくまで人物本意でロータリーを良く理解してくれて世話クラブおよびカウンセラーと良好な関係を保つことができそうな奨学生を選ぶようにしています。大学国籍にとらわれることなく、将来にわたり日本との良い関係を築き続けてくれそうな奨学生を合格としたいと思います。15分の中でその人物の本質を見抜くことは、なかなか難しいことですが、我々も全力を傾けて面接に応じたいと思っています。